



文化祭、にぎわう

第25回村総合文化祭が11月6、7の両日、村社会体育館を主会場に行われました。文芸作品の展示や郷土料理の試食会、舞台発表、友好町村秋田県琴丘町の特産品販売などに大勢の人が訪れ、にぎわい

ました。

社会体育館には園児や小中学生の図画や工作、一般の川柳や書道などを展示。郷土料理の試食会やお茶会、フリーマーケットなども行われました(写真)。

7日の舞台発表では小中学校の歌や劇などが披露され、日ごろの活動の成果を発表していました。



事故に気を付けて

九月二十七日から十月一日までの五日間、村デイサービスセンターで、同センターを利用して高齢者を対象に交通安全教室が開かれました。

教室には五日間で百二十八人が参加。高齢者に関係したビデオを見たあと、普代駐在所の菊池孝則所長が最近の高齢者の事故の話や、夜道を歩くときの注意について話しました。菊池所長は「高齢者の交通事故は夕方が多いです。夜行反射材を身に付けるか、白っぽい服装にして、事故に十分気を付けてください」と、参加者に注意を促していました(写真)。

賢治の詩碑を設置

村の宮沢賢治作品の愛好家で作る、リアスの海から賢治と語る会(金子功代表)は、堀内漁港内のまついそ公園に賢治の詩碑「敗れし少年の歌へる」を設置しました。

詩碑の除幕式は10月17日行われ、会員と村関係者、賢治ファン約50人が除幕しました(写真)。詩碑は縦80㍍、横120㍍で、前面は詩のほかに賢治とフクロウの模写が彫ってあります。金子代表は「県北での賢治の足跡はあまり知られていません。村民はじめ多くの人に感心を持ってもらう場にしたいです」と期待していました。

